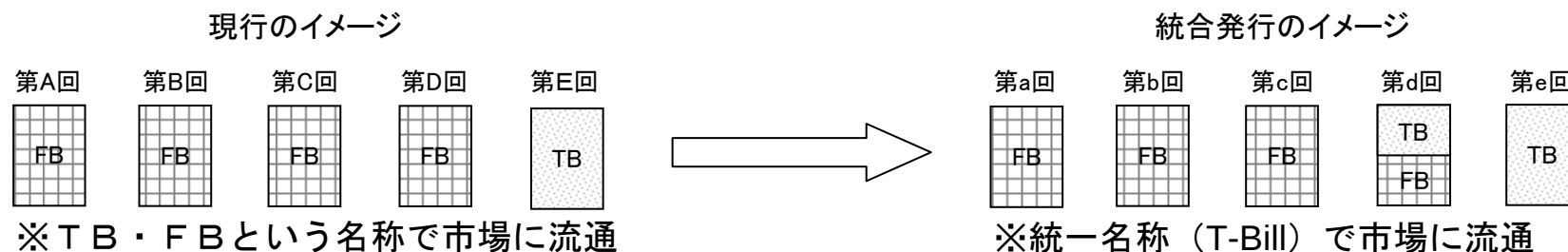


T B（割引短期国債）と F B（政府短期証券）の統合発行について



- ☆ 20年度中を目処として、TB・FBの統合発行が実施できるよう、システム対応等、実務的な検討を進めている。
- ☆ 現行のTB・FBの財政制度上の位置付け等は変更せず、市場で流通する名称のみ変更する。
- ☆ 統一名称の下で 現行のTB・FB及びその統合銘柄を発行する。

統一名称は、既存のＴＢとＦＢとの区別を明確にすべく、新たな名称を付すことを予定。

新名称 (案)

日本語名：国庫短期証券

英語名： Treasury Discount Bills

略称： T-Bill

※証券コードの付番体系については、近日中に東証より発表される
予定(コードの桁数は現在のTB・FBのものと同様となる予定)

国債に係る海外説明会（海外 I R－欧州）について

1. 開催場所、日時

日 付	都 市	内 容
2 月 2 8 日（木） 2 9 日（金）	ロンドン	Japan Debt Capital Markets Forum 投資家に対する個別説明会 8 件
3 月 3 日（月） 4 日（火）	パリ	日本国債セミナー 投資家に対する個別説明会 2 件
3 月 5 日（水） 6 日（木）	フランクフルト	日本国債セミナー 投資家に対する個別説明会 3 件
3 月 6 日（木） 7 日（金）	アムステルダム／ ハーグ	投資家に対する個別説明会 4 件

（注 1） ロンドンにおいて、ユーロマネーが開催した“Japan Debt Capital Markets Forum”に、海外 I Rの一環として参加。

（注 2） ロンドンにおいて、記者会見を実施。ロイター、ダウジョーンズ、ブルームバーグ、朝日新聞、NHK、共同通信、時事通信、日本経済新聞、読売新聞等が参加。

（注 3） 招待客の選定、会場設営等について国債市場特別参加者の協力を得た。

2. 日本国債セミナー等の概要

- （1）日本経済の現状及び財政構造改革について（説明者：篠原財務官（ロンドンのみ））
- （2）国債管理政策等について（説明者：貝塚理財局国債業務課長）
- （3）エコノミスト等による説明
- （4）パネル・ディスカッション
- （5）質疑応答

3. 主な質問等

【日本経済等について】

- ・ いわゆるデカップリング論について
- ・ 日本の物価・賃金動向について
- ・ 日本の財政状況の見通しについて
- ・ ソブリン・ウェルス・ファンドについて

【日本国債について】

- ・ 40 年債を含む超長期債について
- ・ 物価連動債について
- ・ 日本の国債市場の流動性について

償還手数料及び利払手数料の引き下げについて

償還手数料及び利払手数料については、平成 20 年 10 月以降に償還・利払が行われる分から以下の料率とする。

なお、自己口（信託口を除く。）で保有する国債に係る償還手数料及び利払手数料については支払わないこととする。

（１）償還手数料

償還手数料は元本額の 0.0006%とする。

TB・FB については現行（元本額の 0.00009%）を据え置く。

（２）利払手数料

利払手数料は料率の算定ベースを元本額に変更し、その料率を 0.0006%とする。

（参考）

	見直し前	見直し後
償還手数料	元本額の 0.09%	元本額の 0.0006%
利払手数料	利子支払額の 0.18%	元本額の 0.0006%

（以上）